



デュアルビュー液晶の試作機。
右方向にはテレビ動画を、左方向にはインターネット画像を同時に表示。
インターネット画像は鏡のなかに見える。



パールビュー液晶

液晶ディスプレイの新しい価値

シャープ「デュアルビュー液晶」「パールビュー液晶」

液晶ディスプレイはこれまで、より大きく、鮮やかに、高解像度に、三次元に……という方向へ進化してきたが、ここにきて、まったく新しいコンセプトのディスプレイが登場した。一つのディスプレイで、同時に二つの画面を見ることができるといふシャープの「デュアルビュー液晶」がそれだ。

これは、一般的なTFT液晶ディスプレイ上に視差バリアを設け、バックライトからの光を左右に分離することで、二方向の異なる表示を可能にしたもの。

想定される用途もさまざま、右画面ではテレビ、左画面ではインターネット画面を表示するマルチメディアモニターとして使用したり、運転手は地図を、助手席の人は映画やテレビを見ることができるようナビゲーター用ディスプレイとして使ったりなどのほか、一台で二種類の広告を表示できる高効率の広告ディスプレイとしても期待されている。

シャープは同時に、電氣的に視野角を広視野角と狭視野角に切り替えられる「パールビュー液晶」も発表した。TFT液晶上に「スイッチ液晶」を設け、左右の光を遮蔽することで、狭視野角モードのときには正面の人にしか表示画面が見えないようにすることができるといふ。電車内で左右からノートPCのディスプレイを覗かれるのは、読んでいる新聞を覗かれる以上に気になることだ。パールビュー液晶がPCに搭載されれば、通勤電車内で会議の資料をチェックしたり、報告書をまとめたりといったことも、心置きなくできるようになるだろう。(Y)